



**OKAZAKI  
ART  
COMMUNITY  
CENTER**  
 岡崎アートコミュニティセンター  
 岡崎市康生通西2丁目20-2  
 岡崎ショッピングセンター CIBICO 1階



あいちトリエンナーレ2016の広報はもちろんのこと、アートに関わる様々な情報を発信するアートインフォメーションセンターを開設しました。

※会場へはできるだけ公共交通機関をご利用下さい。

- 1** 岡崎ショッピングセンター CIBICO  
岡崎市康生通西2丁目20-2
- 2** VASE the social markethub  
岡崎市康生通東1-14
- 3** 旧タネイビル (籠田公園北西建物)  
岡崎市連尺通3丁目7
- 4** masayoshi suzuki gallery  
岡崎市康生通3丁目20

**WORKSHOP 参加者募集中**

**ワークショップ講師 高橋耕平 Takahashi Kohei**



1977年京都府生まれ。2002年京都精華大学大学院芸術研究科修了。主な展覧会に「ほんとのうへのツクリゴト」(旧本多忠次郎、愛知、2015)、「still moving」(元崇仁小学校、京都、2015)、「史と詩と私と」(京都芸術センター、京都、2014)、「HARADA-san」(Gallery PARC、京都、2013)など。イベントに「発話する主体と転移をめぐる」(blanClass、神奈川、2014)などがある。近年は物事の物質的・精神的継承と記憶・記録の重ね書きをめぐる行為、個人史と歴史の交差、個人と集団の力学に着目した活動を行う。



ダビング・ハウスの再生 旧本多忠次郎邸での展示風景  
 高橋耕平さんは、2015年2月14日～3月27日迄旧本多忠次郎邸(愛知県岡崎市)にて開催された「ほんとのうへのツクリゴト」にて本多忠次郎の歴史や人をテーマに映像作品を制作していただきました。

アーティスト高橋耕平さんに、あいちトリエンナーレ2016岡崎会場の予定地、康生地区で町を撮影、インタビュー、再演等によって映像作品を制作してもらおう。また今回は、その映像作品をワークショップという形で市民の方々に協力していただきながら公開制作していただきます。

**ワークショップ開催日**  
 2016年1月24日(日)午後4時～6時 【会場/旧タネイビル(籠田公園北西建物)】  
 2016年2月21日(日)午後4時～6時 【会場/masayoshi suzuki gallery】  
 ※詳細及び募集開始は2015年12月1日よりフェイスブック・チラシ等によって発表します。

「こじまのはんこや」の消しゴムハンコ作りワークショップ開催!!(3回) 会場/岡崎アートコミュニティセンター(CIBICO 1階)  
 ※募集要項・日程はフェイスブック・チラシ等によって発表します。

主催/岡崎市文化総務課総務企画班/愛知県岡崎市十王町2丁目9番地 TEL:0564-23-6615  
 運営/岡崎アートコミュニティ推進協議会/愛知県岡崎市康生通3丁目20番地(ステージビルII)3階 TEL:0564-21-9936



2016年8月11日(木・祝)～10月23日(日)の74日間、あいちトリエンナーレ2016が開催されます。そして前回の、あいちトリエンナーレ2013に引き続き今回も岡崎市の康生地区が会場となる予定です。



**KAZAKI  
ART COMMUNITY  
PROJECT**

**岡崎アートコミュニティプロジェクト**

岡崎アートコミュニティプロジェクトとは地域の人々と協力してアートプロジェクトを展開する事で「アートコミュニティ」を形成し参加者や地域の人々が「もの」としてのアートを越えて、アートという言葉自体が持っている可能性に出会い、より多くの方々にアートを楽しんでいただけるまちづくりを推進するプロジェクトです。

主催/岡崎市 運営/岡崎アートコミュニティ推進協議会

SALON TALK 参加費無料／参加申込不要／先着各回60名(開始1時間前より会場にて受付開始)

2015  
11月  
29日  
(日)

『あいちトリエンナーレをもっと知りたい!!』

※あいちトリエンナーレや日本各地でのアートイベントの実例についてお話していただきます。

時間／午後1時～3時  
会場／岡崎ショッピングセンター CIBICO1階イベント広場

講師

坪戸雅彦 Haito Masahiko

あいちトリエンナーレ2016 チーフ・キュレーター  
愛知県国際芸術祭推進室主任主査  
あいちトリエンナーレ2010・2013キュレーター

服部浩之 Hattori Hiroyuki

あいちトリエンナーレ2016 キュレーター  
1978年愛知県生まれ。早稲田大学大学院修了(建築学)。2009年より青森公立大学国際芸術センター青森(ACAC)学芸員。つねに「オルタナティブなあり方」を意識の根底に据え、MACという略称を持つアートスペースを山口、ハノイ、青森などで展開。近年の企画に、十和田奥入瀬芸術祭(十和田市現代美術館、奥入瀬地域、2013)、「MEDIA/ARTKITCHEN」(ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、バンコク、青森、2013-2014)などがある。

2015  
12月  
13日  
(日)

『あいちトリエンナーレで  
名古屋市長者町地区は何が変わった!?』

※第1回のあいちトリエンナーレから来年で3回目の開催会場となる名古屋市の長者町地区はトリエンナーレ開催により、まちなかでどんなことが行われ、そして何が変わったのかをお話していただきます。

時間／午後4時～6時  
会場／VASE the social markethub 3階イベント会場

講師

堀田勝彦 Hotta Katuhiko

錦二丁目まちづくり協議会 会長  
2016トリエンナーレ長者町会場 推進チーム長  
名古屋市内のまちなか展開の中心地である長者町生まれ。株式会社リクルートを退社後、家業の繊維問屋 堀田商事に入社。現在は代表取締役。また地域活性化の為にえびす祭りの立ち上げ、空きビルを再生させる、えびすビル事業を中心的に推進してきた。トリエンナーレでは地域住民としてアートとまちの良い関係づくりを担う。

名畑 恵 Nabata Megumi

NPO法人まちの緑育くみ隊 事務局長  
愛知県春日井市生まれ。椋山女子大学学生生活科学部卒業。愛知産業大学大学院造形学研究所(建築学専攻)修士課程修了。現在NPO法人まちの緑育くみ隊スタッフとして中部圏を中心に各地のまち育ちで活動のサポートを行う。錦二丁目・長者町地区では、まち育ち拠点「まちの会所」の運営に携り、あいちトリエンナーレの際にはまちとアートをつなぐコーディネートの役割を担っている。(あいちトリエンナーレ2013まちなか展開拡充事業名古屋会場ディレクター等)

2016  
1月  
24日  
(日)

『アートと建築がつなぐ未来!!』

※岡崎市のおとがわプロジェクトに携わる建築家・藤村龍至さんと、市内外で数々の建築を手掛ける岡崎市の設計事務所・studio Velocityは、いずれもAT2013の出展作家です。建築とアートを架橋する2組に、建築はアートにどう影響を与え、アートは建築どう変えるのか? アートと建築は、まちや人々にどんな役割を果たすのかについてお話していただきます。

時間／午後1時～3時  
会場／旧タネイビル(籠田公園北西建物)

講師

藤村龍至 Fujimura Ryuji

建築家 東洋大学専任講師  
1976年東京生まれ。2008年東京工業大学大学院博士課程単位取得退学。2005年より藤村龍至建築設計事務所主宰。2010年より東洋大学専任講師。主な建築作品に「鶴ヶ島太陽光発電所・環境教育施設」(2014)「主な著書に「批判的工学主義の建築」(2014)「プロタイプビュウー模型とつぶやき」(2014)。

Studio Velocity 建築家

栗原健太郎 1977年埼玉生まれ。石上純也建築設計事務所勤務後、2006年studio velocity設立。現在、愛知産業大学、豊田工業高等専門学校、愛知工業大学非常勤講師。  
岩月美穂 1977年埼玉生まれ。石上純也建築設計事務所勤務後、2006年studio velocity設立。現在、愛知産業大学、椋山女子大学非常勤講師。  
主な受賞にAR HOUSE AWARDS 2013 Highly Commended、International Architecture Awards 2011、JCD award 賞、日本建築学会 東海賞、中部建築賞、愛知住宅賞など。

2016  
2月  
21日  
(日)

『現代美術の見方、楽しみ方!!』

※現代美術の企画として、国内外で有名な豊田市美術館の学芸員の方と現代美術アーティストをお招きして、現代美術の見方や楽しみ方をお話していただきます。

時間／午後1時～3時  
会場／masayoshi suzuki gallery

講師

都築正敏 Tsuzuku Masatoshi

豊田市美術館学芸員  
愛知県岡崎市出身。信州大学教育学部卒業後、1993年より豊田市美術館開設準備室に勤務。現在、同館学芸員/エデュケーター。教育部門を担当するほか、展覧会企画に携わる。主な企画展に「なぜ、これがアートなの?」、「空き地」、「ヤノベケンジ〜キンダガルドン」、「ギョウとチュウウ〜篠原有司和と穂志」、「森村泰昌〜烈火の季節」、「松井紫朗一亀がアキレスに言ったこと」、「ソフィ・カルー最後のとき/最初のとき」。また、現代作家と夏の子どものプログラムも手がけている。

加藤マンヤ Kato Many

アーティスト  
愛知県豊田市出身。1986年、愛知教育大学大学院芸術教育学科を修了。その後、愛知県からの助成金を得て、1997年渡英。1999年、イギリス国立ノッティンガム・トレント大学大学院(MA)を修了。2008年、石田財団芸術奨励賞を受賞。刈谷市美術館での個展など、国内外で個展・グループ展多数開催。日常の既製品に少しだけ手を加えた、奇妙でありながらも笑いを誘うユニークなオブジェが特徴。立体作品を主に手がけるが、シンプルな構成のビデオ作品も発表している。2010年、愛知学泉大学准教授に就任。

2016  
3月27日(日)

『康生町をテーマにワークショップで制作した映像作品をみんなで鑑賞しよう!!』

※2016年1月と2月の2回にわたり行われたワークショップを元に岡崎市康生町をテーマに制作した映像作品の上映会を開催。アーティスト高橋耕平さんに作品についての解説および参加者の皆さんと作品について意見交換いたします。

時間／午後1時～3時  
会場／旧タネイビル(籠田公園北西建物)  
講師 高橋耕平 Takahashi Kohei

※上映会後、有志による交流会を開催予定

名古屋芸術大学・造形実験コース、CCA北九州アーティストリサーチコース。情報科学芸術大学院大学(IAMAS)修了。1998年よりオルタナティブなアート展開「N-mark」を開始する。現在クリエイターのシェア・ビルディング「長者町トランジットビル」ギャラリー「N-MARKB1」等を企画・運営している。2003年には北海道から沖縄まで縦断するアートミーティングの旅「ミーティングキャラバン」を実施。2013年「名古屋テレビ塔」を舞台に「くちゅう美術館」をディレクション。昨年度からは中川運河を舞台とした「リミコライン・アートプロジェクト」など多数のイベントや団体を同時多発的に活動展開している。